

東芝住宅用太陽光発電システム 竣工検査成績書

●工事情報 ※TJPOLARISの申請内容に合わせてください

| | | | | | |
|--------------|-------------------|-------------|---------|------------|---------------|
| ご注文番号または物件番号 | | お客様名 | | ※法人の場合は法人名 | |
| <div></div> | | 姓 | | 名 | |
| | | | | 様 | |
| 施工店 | 施工技術ID | 姓(カナ) | | 名(カナ) | |
| | TR | <div></div> | | | |
| | 電気工事ID | 姓(カナ) | | 名(カナ) | |
| | TR | <div></div> | | | |
| 販売店 | 会社名 | | 電話番号 | | 担当者氏名 |
| | | - | | - | |
| 引渡し | 設置完了日(竣工検査が完了した日) | | 連系完了日 | | 計測時の天候(※1) |
| | 20年 月 日 | | 20年 月 日 | | [] AM / PM : |

※1 出来る限り晴天日に測定してください。雨天時や夜間など発電しない条件下での測定は避けてください。

●電気工事

| | | | | | | | | | |
|-------|--------------------|-------|-------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 接地抵抗値 | パワーコンディショナ | 絶縁抵抗値 | 太陽電池と接続箱接地間 | 系統1 P(+) | 系統2 P(+) | 系統3 P(+) | 系統4 P(+) | 系統5 P(+) | 系統6 P(+) |
| | Ω | | | MΩ | MΩ | MΩ | MΩ | MΩ | MΩ |
| | 太陽電池・架台・接続箱・昇圧ユニット | | 系統1 N(-) | 系統2 N(-) | 系統3 N(-) | 系統4 N(-) | 系統5 N(-) | 系統6 N(-) | |
| | Ω | | MΩ | MΩ | MΩ | MΩ | MΩ | MΩ | MΩ |

[判定基準] 100Ω以下であること(D種) [判定基準] 接続箱のブレーカを全てOFF、接続箱でアース端子と太陽電池側の「P」および「N」端子間をメガーDC500Vレンジで測定し、1.0MΩ以上であること

| | | | | | | |
|-------|-------------|---------|----------|----------|----------|----------|
| 絶縁抵抗値 | 太陽電池と昇圧ユニット | 昇圧ユニット1 | 入力側(+端子) | 入力側(-端子) | 出力側(+端子) | 出力側(-端子) |
| | 接地間、 | | MΩ | MΩ | MΩ | MΩ |
| | 昇圧ユニットと接続箱間 | 昇圧ユニット2 | 入力側(+端子) | 入力側(-端子) | 出力側(+端子) | 出力側(-端子) |
| | | MΩ | MΩ | MΩ | MΩ | MΩ |

[判定基準] 昇圧ユニットの入力開閉器を「切」にし、昇圧ユニット側の接地端子と入力側「+」「-」端子間、出力側「+」「-」端子間をメガーDC500Vレンジで測定し1.0MΩ以上であること

| | | | | | | |
|-------|------------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 絶縁抵抗値 | パワーコンディショナ本体と配線間 | N端子 | P端子 | U端子 | O端子 | W端子 |
| | | MΩ | MΩ | MΩ | MΩ | MΩ |

[注意事項&判定基準] 実施前に施工主に停電することを説明後、分電盤の主幹漏電ブレーカ、分岐用ブレーカ、太陽光発電用ブレーカ、接続箱のブレーカをすべて「OFF」にし、パワーコンディショナのアース端子と「N」「P」「U」「O」「W」端子間をメガーDC500Vレンジで測定し、1.0MΩ以上であること

| | | | | | | | | |
|-------|-----------|-----------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 開放電圧値 | 太陽電池モジュール | 系統1 | 系統2 | 系統3 | 系統4 | 系統5 | 系統6 | |
| | | 昇圧有無 (どちらかに○をつける) ※昇圧は最大2系統 | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし |
| | | 直列数 | | | | | | |
| | 開放電圧 | V | V | V | V | V | V | |

[判定基準] 昇圧ユニットの入力開閉器および接続箱のブレーカを全てOFF後テスターにて測定、出力電圧範囲および系統毎の差異の最大値が電気工事説明書<パワーコンディショナ・接続箱>の規定の範囲内であること。開放電圧は、昇圧ありの系統は昇圧ユニットの入力側「+」「-」端子間を測定する。昇圧なしの系統は接続箱の太陽電池側の「P」「N」端子間を測定すること

| | | | | |
|---------------------|-------------------------|---------|---------------------------------|---|
| パワーコンディショナ 整定値確認 | 電圧上昇抑制 (設定した値に○を付ける) | 整定値(pf) | (TPV-PCS0***シリーズ/TPV-*Mシリーズの場合) | 107.0 / 107.5 / 108.0 / 108.5 / 109.0 / 109.5 / 110.0 (V) |
| | | | (上記以外の東芝製品の場合) | (V) |

[注意事項] 整定値の設定を実施した後、パワーコンディショナ本体の整定値一覧表に、設定した値に○印を記入して下さい。

●工事点検結果報告

| 項目 | 確認内容 | チェック |
|---------|---|------|
| 設置状況 | 設置方位の異なる太陽電池モジュールを同一系統に接続しないこと | 良 否 |
| | 架台と太陽電池モジュールと取り付け部分のナットやボルトが指定されたトルクで締め付けられていること | |
| | 太陽電池モジュールが常時日陰になっていないこと、また時期により電柱/木/建物などの影の影響が考えられる場合お客様に説明していること | |
| | 太陽電池モジュールは北面に設置されていないこと(北面設置の場合は、「北面屋根設置に係る確認書」をお客様との間で取交すこと) | |
| | 設置住所地の特定行政庁が定める垂直積雪量が据付工事説明書の据付条件を満たしていること(積雪量超過の場合は、「多雪施工に関する覚書」をお客様との間で取交すこと) | |
| | 海岸より飛散した海水が直接かかる地域に設置されていないこと(設置の場合は、「海岸地域設置に係る覚書」をお客様との間で取交すこと) | |
| | 基準風速について据付工事説明書の据付条件を満たしていること | |
| | 標高について据付工事説明書、電気工事説明書の据付条件を満たしていること | |
| | 傾斜屋根の場合、据付工事説明書の屋根勾配条件を満たしていること | |
| | 高さ13mを超える建築物に設置していないこと。モジュール最頂部が屋根より高い場合は最頂部が13mを超えないこと | |
| 配線・電気工事 | 野地板に雨漏りの形跡がないこと | 良 否 |
| | 太陽電池モジュールが屋根からはみだしていないこと。据付工事説明書の設置禁止範囲に設置していないこと | |
| | 配線の損傷、コネクタ部の緩み、配線の不備(露出配線、PFD管内配線接続、配線固定方法など)がないこと | |
| | 太陽電池モジュール・架台・接続箱・昇圧ユニットとパワーコンディショナのアースD種設置工事が別々に独立させ、かつそれぞれ確実に行われていること | |
| その他 | パワーコンディショナの整定値は所管の電力会社の指定通りであること | 良 否 |
| | パワーコンディショナ整定値の設定を実施した後、パワーコンディショナ本体の整定値一覧表に、設定した値に○印を記入すること | |
| 運転状況 | 上記記載項目以外についても、最新の該当製品に関する工事説明書、マニュアルに従って施工されていること | 良 否 |
| | 運転スイッチを「ON」とした時、運転すること | |
| | 運転スイッチを「OFF」とした時、直ちに停止すること | |
| | 商用電源を停電させたとき、直ちに停止すること | |
| | 商用電源を復電させたとき、カウントダウン後運転すること | |
| | 連系運転中、連系ランプが点灯すること(表示ユニットがある場合は合わせて確認する) | |
| | 自立運転中、自立ランプが点灯すること(表示ユニットがある場合は合わせて確認する) | |

(良否どちらかに○をつける)

【注意事項】

- 全項目を記入し、連系開始後7日以内に東芝窓口に提出してください。
- ただし、「TJPOLARIS 設計支援ツール」にて「竣工結果を TJPOLARIS で申請する」方式を選択した場合、東芝への提出は不要です。
- 詳細が不明の場合、追加資料の提出または現地調査に同行を求める場合があります。
- 東芝住宅用太陽光発電システムの長期保証は別途申請が必要です。弊社にて申請を受付後、審査に合格した場合に長期保証が有効となります。
- パワーコンディショナが複数台構成の場合は、台数分の用紙を使用してください。